



休み中に読んでほしい本 第5号

成瀬高校では毎年小冊子「夏休みに読んでほしい本」を1年生の皆さんにお配りしていますが、今回、先生方の協力を得て、そこから抜粋し、新作も含めWeb版で再開の日まで定期的にお届けすることにしました。

『御社のチャラ男』 絲山 秋子 著 講談社

芥川賞作家、^{いとやま}絲山秋子の最新・話題作。「チャラ男」がどれだけひどいチャラ男なのか、読んでみると面白いです。心理的な描写が独特だと思います。川端康成文学賞受賞作『袋小路の男』もおすすめです。

『船に乗れ!』 藤谷 治 著 全3巻 (ポプラ文庫)

IからIIIまでの3冊あり、ボリュームがありますが、途中で読むのをやめられないくらいおもしろいです。音楽科の高校生の話です。普通の高校生の話ですが、先が読めない、ドラマチックな展開で、I巻を読み始めた時には想像できない結末になります。長いので、まとまった時間の取れるときに読むのがいいと思います。素直で、自分の気持ちに正直な主人公に好感がもてました。

(3学年担任, 理科 : M)

『夢をかなえる大学選び, 令和時代に花咲く学び方』 船橋 伸一・河村 振一郎 共著 飛鳥新社

この本は今年2月、私が初めて成瀬高校を訪れた際、ある先生からご紹介いただいた本です。進学先選びについて大学教授の立場からわかりやすく、包み隠さず書かれています。タイトルのとおり、正しい大学の見分け方、入試方法、就職、受験勉強法など、大学選びに欠かせない話が満載で、成高生や保護者の皆様にぜひ読んでいただきたい本です。この本を読んで、進路実現に向けての一步を踏み出してみませんか。

(進路指導部, 数学科 : K)